

東海道五十三次 27 番目の宿場



令和6年9月19日
袋井市長定例記者会見資料
企画部多文化共生推進課

今月の日本語教室は「防災VR・AR体験会」を開催 ～災害の疑似体験を通じた日本語習得と防災意識の向上を図る～

◇市内在住外国人を対象に年間全12回開催している日本語教室「はじめての日本語ひろば」を、今月は、防災月間にちなみ「防災」をテーマに開催する。

◇参加者には、火災や地震、浸水などの災害時の状況をVR・ARを用いたリアルな疑似体験を経験していただき、体験後、日本語サポーターと体験をとおして感じたことや、災害への備え、避難等について日本語を使って対話しながら学ぶ。

◇本事業は、「あいおいニッセイ同和損害保険(株)」との連携協定に基づいた事業の一環として実施する。

【概要】

- 日時 2024年(令和6年)9月29日(日) 午前9時30分～午前11時30分
- 場所 袋井市役所3階 301会議室・302会議室(袋井市新屋1-1-1)
- 参加者
 - 外国人市民20人程度(ブラジル、ベトナム、ネパール、タイ、アメリカ、オーストラリアなど)
 - 日本語サポーター20人程度(高校生、大学生や大人など様々な世代のサポーター)
- 内容
 - 防災VR/AR体験
 - 防災に関する対話交流活動(災害への備えや避難所等について)
- はじめての日本語ひろば
静岡県地域日本語教育体制構築事業として静岡県が推進する「対話交流型」の日本語教室。今年度で4年目を迎える。
今年度は、8月から11月の期間に全12回開催。
外国人と日本人が、日常生活に密着したテーマに基づき、日本語での対話による交流を重ね、お互いを理解し学び合える場を目指して実施している。
- その他
本事業は、2023年(令和5年)1月に連携協定を締結した、あいおいニッセイ同和損害保険(株)との連携事業の一環として実施する。



【お問い合わせ先】

袋井市 企画部 多文化共生推進課 多文化共生係(担当:十朱)
電話:0538-44-3138 FAX:0538-43-2132 メール:tabunka@city.fukuroi.shizuoka.jp